

令和四年度

学校推薦型選抜・公募制問題用紙(小論文)

比較文化学部 比較文化学科

次の文章は、阿部謹也『中世の星の下で』の一節である。これを読み、次の問いに答えなさい。

問一 傍線部「三箇例をみてやる」といった思いあがった感じは全くなく」とあるが、それはなぜか。

七十五字以内(句読点含む)で述べなさい。

問二 「シユテフィットウング」に対応する日本語の訳語がみつからないということが、日本人の行

いの意味を考え直す機会となるという本文の主張をふまえて、現代の日本において「善播」「悪播」がどのようなものであるべきか、自身の考えを六百字以内(句読点を含む)で述べなさい。

本部分については  
著作権上の制約により  
掲載することができません。

令和四年度

学校推薦型選抜・公募制問題用紙(小論文)

比較文化学部 比較文化学科

本部分については  
著作権上の制約により  
掲載することができません。